



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 カップ・クリエイト株式会社

コード番号 7421 URL <http://www.kappa-create.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大野 健一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長兼経理部長 (氏名) 小林 元樹 TEL 045-224-7095

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	59,532	△0.6	381	-	532	-	365	-
29年3月期第3四半期	59,920	△3.0	△662	-	△512	-	△5,570	-

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 348百万円 (-%) 29年3月期第3四半期 △5,503百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	7.51	7.51
29年3月期第3四半期	△114.53	-

(注) 平成29年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、1株当たり四半期純損失であるため記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	32,181	11,403	35.3	233.29
29年3月期	29,621	11,008	37.0	225.29

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 11,369百万円 29年3月期 10,970百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
30年3月期	-	0.00	-	-	-
30年3月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 平成30年3月期の配当につきましては、現在、未定です。

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	78,389	△1.3	504	-	696	-	781	-	16.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー 社 (社名) 、除外 ー 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	49,414,578株	29年3月期	49,414,578株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	678,048株	29年3月期	717,648株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	48,718,358株	29年3月期3Q	48,635,687株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業の設備投資や雇用環境の改善等を背景に景気は緩やかな回復基調にあるものの、米国大統領の政策動向や、北朝鮮など海外における地政学的リスクの高まり等の影響が懸念されるなど先行き不透明な状況が続きました。

外食業界におきましては、食材価格の高騰、人材確保の競争の激化、食の安全・安心に対する社会的関心の高まりに加え、消費者の節約志向の影響から、経営環境はより一層の厳しさを増しております。

このような状況の中、店舗改装(24店舗)や新規ロゴへの看板変更(一部店舗を除く)を行うなど、新規顧客の獲得及びリピーターの増加を目指してまいりました。

新規出店については、本年4月に一関店、6月に安中店の計2店舗をオープンいたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は595億32百万円(前年同四半期比0.6%減)、営業利益は3億81百万円(前年同期は営業損失6億62百万円)、経常利益は5億32百万円(前年同期は経常損失5億12百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億65百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失55億70百万円)となりました。

次に事業の種類別セグメントの概況をご報告申し上げます。

#### <回転寿司事業>

回転寿司事業におきましては、全社的な事業構造改革を通じて、国内回転寿司業態におけるメニュー・品質の向上及び積極的な販売促進に注力するべく、蟹の中でも高級食材と知られる「本ずわい蟹」を贅沢に使用し冬の味覚をたっぷり堪能いただける「かっぱの蟹づくし」フェアや、昨年販売しご好評いただいた、鮮極いくらと脂がたっぷりとのった大とろを贅沢に盛り付けた「至極の大桶シリーズ 冬 SUSHI CAKE」の販売など、「かっぱ寿司」でしか味わえない素材にこだわった新鮮で魅力ある旬のネタを提供し、販売促進を行ってまいりました。また、11月より「食べホー」と題して期間限定で「食べ放題」を全店舗で展開する取り組みなど、新規のお客様にとっての来店動機の充実に取り組んでまいりました。加えて、店舗運営の観点におきましては、お客様により良い商品・サービスをご提供すべく、調理マニュアルの見直しやスピード向上のための取り組みを引き続き行うなど、店舗におけるオペレーション力の強化に努めてまいりました。しかしながら、天候不順等に伴う売上高の減少や、食材価格の高騰が想定を上回って推移していること、また店舗における営業状態の改善に優先的に取り組んでいることに伴う各種費用の増加などにより、利益を圧迫する要因となりました。

海外では韓国で回転寿司を6店舗運営しております。メニューの定期的な見直しを中心とした、商品力・サービスの向上に注力し、改善を進めております。

以上の結果、回転寿司事業の売上高は503億51百万円(前年同四半期比1.2%減)となりました。

#### <デリカ事業>

デリカ事業におきましては、コンビニエンスストアを中心とした寿司弁当、調理パン等の新規取引先の拡大及び既存顧客の販売強化に取り組んでおります。

以上の結果、デリカ事業の売上高は91億81百万円(前年同四半期比2.5%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間における総資産は321億81百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億59百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が10億51百万円増加、売掛金が2億94百万円増加、建物及び構築物が5億73百万円増加、工具、器具及び備品が2億28百万円増加したことによるものです。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間における総負債は207億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億64百万円増加いたしました。これは主に、買掛金が1億61百万円増加、長期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が15億26百万円減少、長期未払金が7億8百万円増加、社債及び1年内償還予定の社債が27億30百万円増加したことによるものです。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間における純資産は114億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億95百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益3億65百万円により利益剰余金が増加したことによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間の業績等を鑑み、平成30年3月期通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、平成30年1月30日付で開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,493	5,545
売掛金	1,672	1,966
商品及び製品	354	506
原材料及び貯蔵品	262	371
未収消費税等	368	345
その他	1,081	1,884
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	8,233	10,619
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	29,517	30,162
機械装置及び運搬具	4,425	4,461
工具、器具及び備品	4,318	4,602
土地	3,235	2,990
リース資産	2,020	2,283
建設仮勘定	74	7
減価償却累計額	△30,358	△30,689
有形固定資産合計	13,233	13,817
無形固定資産		
	197	226
投資その他の資産		
投資有価証券	853	854
敷金及び保証金	6,569	6,209
その他	497	369
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	7,910	7,423
固定資産合計	21,342	21,468
繰延資産		
社債発行費	46	93
繰延資産合計	46	93
資産合計	29,621	32,181

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,704	3,865
短期借入金	398	249
1年内返済予定の長期借入金	1,964	1,059
1年内償還予定の社債	540	1,110
未払金	1,110	1,704
未払費用	1,878	1,843
リース債務	461	454
未払法人税等	385	276
未払消費税等	181	339
賞与引当金	316	34
株主優待引当金	123	173
店舗閉鎖損失引当金	56	24
繰延税金負債	14	14
その他	253	297
流動負債合計	11,388	11,447
固定負債		
社債	2,190	4,350
長期借入金	1,626	1,004
長期未払金	1,179	1,887
長期預り保証金	115	90
リース債務	506	497
資産除去債務	1,467	1,451
繰延税金負債	63	0
その他	76	47
固定負債合計	7,224	9,330
負債合計	18,613	20,777
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,800	9,800
資本剰余金	3,664	2,259
利益剰余金	△1,783	1
自己株式	△673	△636
株主資本合計	11,006	11,423
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4	△2
為替換算調整勘定	△31	△51
その他の包括利益累計額合計	△35	△53
新株予約権	37	34
純資産合計	11,008	11,403
負債純資産合計	29,621	32,181

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）
売上高	59,920	59,532
売上原価	29,470	28,622
売上総利益	30,449	30,910
販売費及び一般管理費	31,112	30,528
営業利益又は営業損失（△）	△662	381
営業外収益		
受取利息	47	42
受取配当金	31	44
受取家賃	196	167
自動販売機収入	51	47
為替差益	—	29
雑収入	98	63
営業外収益合計	425	395
営業外費用		
支払利息	38	45
社債利息	2	19
賃貸収入原価	167	148
為替差損	22	—
雑損失	43	31
営業外費用合計	274	244
経常利益又は経常損失（△）	△512	532
特別利益		
固定資産売却益	12	26
退職給付制度終了益	272	—
受取和解金	—	36
特別利益合計	284	62
特別損失		
固定資産除却損	43	37
減損損失	1,322	51
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	13
その他	—	2
特別損失合計	1,365	104
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△1,594	491
法人税、住民税及び事業税	211	188
法人税等調整額	3,763	△62
法人税等合計	3,975	125
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△5,570	365
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△5,570	365

（四半期連結包括利益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△5,570	365
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	1
退職給付に係る調整額	108	—
為替換算調整勘定	△42	△19
その他の包括利益合計	66	△17
四半期包括利益	△5,503	348
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,503	348



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年6月21日開催の第39期定時株主総会の決議により、資本準備金を1,187百万円減少し、その他資本剰余金に振替えた後、同日付でその他資本剰余金を1,418百万円減少し、繰越利益剰余金に振替え、欠損填補を行っております。

なお、株主資本の合計金額には、著しい変動はありません。